

労働安全衛生マネジメント

積水ハウスグループでは、従業員ならびに委託業者の安全・健康を第一に考え、日々業務を行っています。労働災害が発生した場合、事務・生産・施工の部門ごとに安全衛生委員会で事例を共有し、職場の安全衛生に関するPDCAサイクルを回しています。

休業災害度数率・業務上疾病度数率

2016年度、部門別の休業災害度数率・業務上疾病度数率は2015年度と比較して増加したものの、減少したものがありません。しっかりと要因分析を行い、安全衛生意識の向上、不安全行動の防止、災害や疾病につながる長時間労働の抑止等に取り組んでいます。

休業災害度数率/業務上疾病度数率 (休業1日以上を集計)

部門	休業災害度数率		業務上疾病度数率	
	2015年度	2016年度	2015年度	2016年度
事務部門(従業員※1)	0.33	0.16	0.03	0.00
生産部門	従業員※1	0.00	0.40	0.00
	委託業者	0.32	1.22	0.00
施工部門(委託業者のみ)※2	3.00	2.57	0.17	0.34

※1 積水ハウス単体

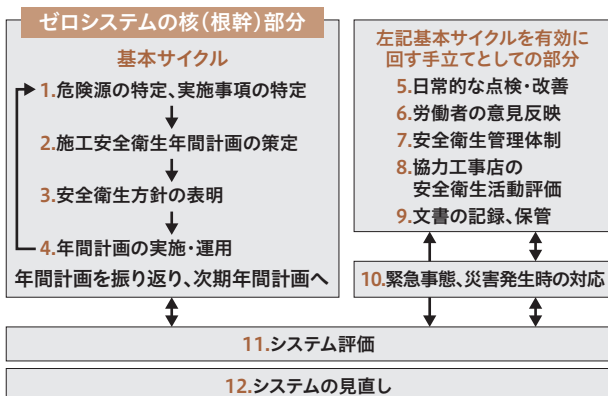
※2 2016年度から、施工現場(委託業者のみ)の延べ労働時間推計に使用する施工床面積当たりの人工数を最新のものと変更しました。最新のものを使用した場合の2015年度の施工現場(委託業者のみ)の休業災害度数率は2.42、業務上疾病度数率は0.14です。

独自の「積水ハウス危険ゼロシステム」を運用

特に、より危険な作業が伴う施工現場については、専門部署である施工部 安全指導室を設置し、労働災害の発生防止に努めています。

仕組みとして、厚生労働省が推奨している「労働安全衛生マネジメントシステム」に施工現場の特性を加味した独自の「積水ハウス危険ゼロシステム」を構築。全社および事業所ごとに毎年作成する「施工安全衛生年間計画」をベースとして、当社グループや協力会社の従業員が安全で健康に働けるよう、安全衛生管理活動を展開しています。

「積水ハウス危険ゼロシステム」の概要



施工現場での労働安全衛生活動

すべての施工従事者の労働安全衛生の確保は、当社グループの社会的責任であり、重点的に取り組むべき項目の一つと考えています。当社グループでは施工従事者が安全に安心して働くことができるよう、2016年度の「全社施工安全衛生年間計画」で「墜転落災害と重機災害の撲滅」を掲げました。墜転落では、全社を挙げて適正な足場を組むことに注力した結果、外部足場の災害件数は半減したものの、脚立災害は微増しています。「足場組立等特別教育」については、外部機関での講習に加え、当社自前でも実施しています。

2016年度の労働災害は、工事量の増大と相まって過去10年で最多となりました。軽症の災害が全体の6割を占め、その最大要因が手順を守らない、面倒なので保護具を使用しない等のヒューマンエラーでした。一方的な指示により不安全行動を即是正するだけでなく、作業者の自発的行動を促す的確な対応が必要であると認識しています。

ここ数年続く労働災害の増加を阻止するため、2017年度「全社施工安全衛生年間計画」では「重大な災害を起こさない」および「災害増加に歯止めをかける」ことに注力していきます。スローガンは「感知即動！ みんなが主役 手順を守って 安全行動 ヨシ！」です。

また、工事関係者全員に対して、災害防止対策や安全衛生教育を実施。2016年度の「職長・安全衛生責任者教育」や「足場組立等特別教育」では、法定の内容に当社グループの傾向や実施対策を加味して実施しました。



「労働安全スローガン」ポスター